

ゼロトラスト思想でAzure AD連携とWindows Virtual Desktopを活用したリモートアクセス環境を1か月半で導入

Azure の起動と終了をコントロールする JBS のツールを活用し

Windows Virtual Desktop の利用コストを最適化



アイペットホールディングス株式会社
情報システム部 シニアリーダー 川村 泰人氏

ペット保険事業を展開するアイペット損害保険株式会社の純粋持ち株会社、アイペットホールディングス株式会社（以下、アイペットホールディングス）では、グループ会社と同社を兼務する社員が、業務分離の観点からスムーズかつセキュアに両社のシステムを利用できるようにWindows Virtual Desktop（以下、WVD）を導入。リモートアクセス環境を実現しました。

※ Windows Virtual Desktopは2021年6月よりAzure Virtual Desktopに名称変更

【会社概要】

**ペットと人が共に健やかに暮らせる社会を目指す
「アイペットホールディングス」**

● アイペットホールディングスについてご紹介ください。

アイペットホールディングスは、アイペット損害保険株式会社（以下、アイペット損害保険）の持ち株会社体制への移行にともない設立された純粋持ち株会社（完全親会社）です。

母体となるアイペット損害保険は2004年の創業以来、ペット保険専門としてお客さまが抱える“うちの子”の病気やケガに対する不安や経済的負担を軽減することを第一の存在意義とし、ペットと人が共に健やかに暮らせる社会の実現を目指して、ペット保険の普及に努めてきました。2018年には東証マザーズへの上場を果たしています。

2020年10月に、アイペット損害保険が少額短期保険会社であるパッツファースト少額短期保険株式会社（以下、パッツファースト少額短期保険）を子会社化し、ペットについての困りごとを専門家にいつでも相談できるサービスを展開する「パッツオーライ株式会社」とともに、4社でアイペットグループを形成しています。

アイペット損害保険では、お客さまのニーズに合わせて、犬・猫向けに通院から入院・手術まで幅広くカバーした安心のペット医療費用保険「うちの子」、そして、手術と手術を含む連続した入院に補償を限定し、保険料を抑えたペット手術費用保険「うちの子ライト」という2つのタイプの主軸となる商品に加え、ペットショップ代理店でのペットのお迎え時における限定商品として「うちの子プラス」と、うさぎ、フェレット、鳥などのペットのための「うちの子キュート」もご用意しています。

おかげさまで、2021年1月時点で保有契約件数は60万件を超え、ペット保険継続率は約90%と業界トップクラスの評価をいただいています。

私たちアイペットグループは、ペットの家族化が浸透する日本において、中核となるペット保険事業を足掛かりに、ペットと人が共に暮らし続けるためのさまざまな社会的課題に対し、グループシナジーによる新しい価値の創出を通じて、すべてのペットとペットオー



アイペットホールディングス株式会社

代表者：代表取締役CEO 安田 敦子

本社所在地：東京都港区六本木1-8-7 MFPR六本木麻布台ビル

設立：2020年10月1日

資本金：102百万円（2021年3月31日現在）

従業員数：46名

（連結従業員数512名2020年10月1日現在）

事業概要：子会社の経営管理等

ナーさまが健やかに暮らせる社会づくりに貢献することを目指しています。

【導入背景】

持ち株会社と事業会社、両社のシステムを1台のPCから利用できるようリモートアクセス環境を導入

● アイパットホールディングスにおいてリモートアクセス環境を導入した背景を教えてください。

アイパットホールディングスの社員は、全員がアイパット損害保険をはじめとするグループ会社と兼務しています。そのため、各自が所属しているグループ会社とアイパットホールディングス、2社のシステムを利用しなければなりません。

グループでシステムを共同利用するという考え方もあるかもしれませんが、グループ会社であるアイパット損害保険は、損害保険会社としてお客さまからお預かりした重要な契約情報や金融業務に関する情報などを適切に管理・運用しなければなりませんので、業務分離の観点から両社のシステム環境を完全に分離する必要があります。

そのため、本来であれば両社のシステム用に異なるPCを配布して利用してもらうのですが、そのような煩雑な状況避けるために仮想デスクトップによるリモートアクセス環境を導入しました。

● VPNによる各システムへのアクセスなどは検討しなかったのでしょうか。

アイパットホールディングスでは、クラウドファーストでのシステム利用を前提としており、ゼロトラスト思想でシステムを設計しています。そのため、DaaSの導入を最優先に検討を進めました。一度社内システムへのウイルス侵入を許すと、広範囲に影響が出やすい境界型のVPNによるリモートアクセス環境は、当初から頭の中にはありませんでした。

【選定理由】

無駄のないシンプルで安心感のあるJBSからの提案を採用

● WVDの導入を検討した経緯を教えてください。

アイパットホールディングスは2020年10月に業務を開始したのですが、WVDの利用は2021年2月からとなります。まずは、その経緯から話をさせてください。

業務の開始当初は、アイパットホールディングスの業務には通常のFAT PCを、グループ会社の業務ではコロナ禍におけるテレワークに対応するためのリモートアクセス環境がすでに導入されていたので、その環境をそのまま利用しました。

しかし、当時のリモートアクセス環境はセッションが切れてしまうことがあり、その都度、スマートフォンを使った多要素認証を用いてログインし直さなければならないという状況が発生し、利用者から不満

の声が上がっていました。

そこで、すでにIaaS上で構築・運用されていたグループ会社の業務システムにおいては、マシンスペックを活かすことができるFAT PCを利用することとし、アイパットホールディングスにおいては新たにWVD環境を導入することにしました。実業務環境と接続環境との相性を見直し、逆の環境にしたわけです。

● WVDを採用してよかったと考える点を教えてください。

業務分離の観点からDaaSを前提に、迅速かつコストを抑えて導入できること、そしてゼロトラスト思想でセキュリティ施策を講じることができることから、WVDの導入検討を進めました。WVDを採用した主なポイントは次の通りです。

- ・情報漏えい対策や管理機能など、リモートアクセス環境を構築・運用する上で必要な機能が充実している
- ・Azure Active Directory(以下、Azure AD)でユーザー認証を一元管理できる
- ・Azure ADの条件付きアクセス機能により、要件に合わせて柔軟なMFA(多要素認証)環境が構築できる
- ・Windows 10やMicrosoft 365との互換性が高い
- ・マルチセッションにも対応しており、管理コストおよび工数を削減できる
- ・Microsoft 365のライセンスを所有しているので、追加のライセンスが不要である
- ・国内外における導入実績が豊富である

● JBSからの提案を採用した理由を教えてください。

いくつかのソリューションベンダーに提案を依頼した中で、オーバースペックで割高な内容の提案もありましたが、JBSからの提案はシンプルなスペックかつ、Azureの起動と終了をコントロールするツールを含めて利用コストを抑えられる内容で、当社からの要望にもっともフィットしていました。

また、JBSはWVDの導入・構築の実績も豊富で、マイクロソフト製品全般に精通しており、当社の業務環境に対する理解度も高いことから、安心してWVDの導入を任せられると考えました。

【利用状況】

Azureの起動・終了を管理するツールの導入により、利用コストを最適化

● WVDの利用状況について教えてください。

約80名の社員がWVDを利用して業務にあたっています。ユーザー認証には端末やIPアドレスを使用したAzure ADによる認証を、Webアクセスにはクラウド型のWebゲートウェイを採用しています。

利用しているアプリケーションは、Microsoft 365をはじめとしたSaaSがメインで、自社でオンプレミス環境やクラウド環境で構築・運用している業務システムなどはありません。

● WVDの導入にあたり、JBSの担当した業務について教えてください。

JBSには、要件定義から構築、運用までをトータルでサポートしてもらいました。

また、時間を設定してAzureを起動・終了させるツールを、JBSに開発・提供してもらいました。

【導入効果】

事業展開に合わせて、柔軟かつ迅速に対応できるリモートアクセス環境を実現

● WVDの導入効果について教えてください。

接続も安定していて、使い勝手やパフォーマンスも違和感がなく、利用者からの評価は概ね好評です。運用面では、JBSに提供してもらったAzureの管理ツールが有効に機能していますね。Azureは利用時間による従量課金制なので、ツールによって利用コストを最適化することができます。

さらに、利用者が認識することは少ないかもしれませんが、条件付きアクセス機能による認証のため、セキュリティを担保したままログインに関する操作がスムーズになったのも重要な成果です。

また、サイジングや利用者の追加が容易なので、今後、新たにグループ会社が増えた場合など、アイペットホールディングスの兼務になった社員へ、迅速かつ容易にデスクトップ環境を展開できるようになりました。事業展開に合わせて柔軟に対応できる体制が整備されたことも、経営的な視点から見たときに重要な効果だと捉えています。

実際、アイペット損害保険がペットファースト少額短期保険を子会社として迎入れた際も、手間や時間を費やすことなく迅速かつ柔軟な対応ができました。

【JBSへの評価】

短期導入を実現した知見と技術力を高く評価

● JBSへの評価をお聞かせください。

WVDはマイクロソフトの純正DaaSであり、Windows 10やAzure ADとの親和性が高いので詳細かつ柔軟な設定が可能なのですが、正式リリースされたばかりで、PowerShellを使用したホストプールの作成などは慣れていないと少しハードルが高いと感じる部分もあります。

JBSは当社の求める環境をしっかりとヒアリングして、WVDによる最適なリモートアクセス環境を構築してくれました。1か月半という短期間で利用を開始できたのは、JBSの知見と技術力のおかげだと感謝しています。

● JBSへの要望や期待があればお聞かせください。

JBSからは、WVDの保守・運用をアウトソースするサービス（マネージドクラウド for Windows Virtual Desktop）などの提案も受けており、今後利用規模が拡大していけば導入を検討していきたいと考えています。

そのほか、JBSはさまざまなサービスを展開しているので、当グループのシステム構築・運用に役立つサービスや技術情報、キャンペーン情報などの積極的な提供に期待しています。



アイペットホールディングス株式会社
情報システム部 シニアリーダー
川村 泰人氏

【JBS 担当者からのコメント】



ソリューションスペシャリスト本部
ソリューション1部 1課
宮下 奏

本プロジェクトでは2021年1月末までにWVD環境を整備する必要がありました。1か月半での導入を実現するためにリモートでのご支援ではありましたが、コミュニケーションを密にとり、認識齟齬がないように意識して進めました。

アイペットホールディングス様は、マイクロソフトソリューションへの理解も深く、迅速に対応いただけたことも短期導入につながったと考えています。



通信・メディア・サービス・公共本部
通信・メディア2部 2課
牧村 憲樹

アイペットホールディングス様とは今回初めてのお取引となりましたが、グループ会社のアイペット損害保険様のプロジェクトで川村様とご一緒した経験を踏まえ、結果的に短期間で導入を実現できました。

今後もWVDの横展開や運用支援などをご提案させていただき、引き続きアイペットホールディングス様のお力になれるよう、尽力させていただきます。

- 記載されている会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。
- 製品の仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本事例に記載されている情報は取材時（2021年4月）におけるものであり、閲覧される時点で変更されている可能性があります。予めご了承下さい。



お問い合わせ先

日本ビジネスシステムズ株式会社

〒105-5520
東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー 20F
<https://www.jbs.co.jp>